

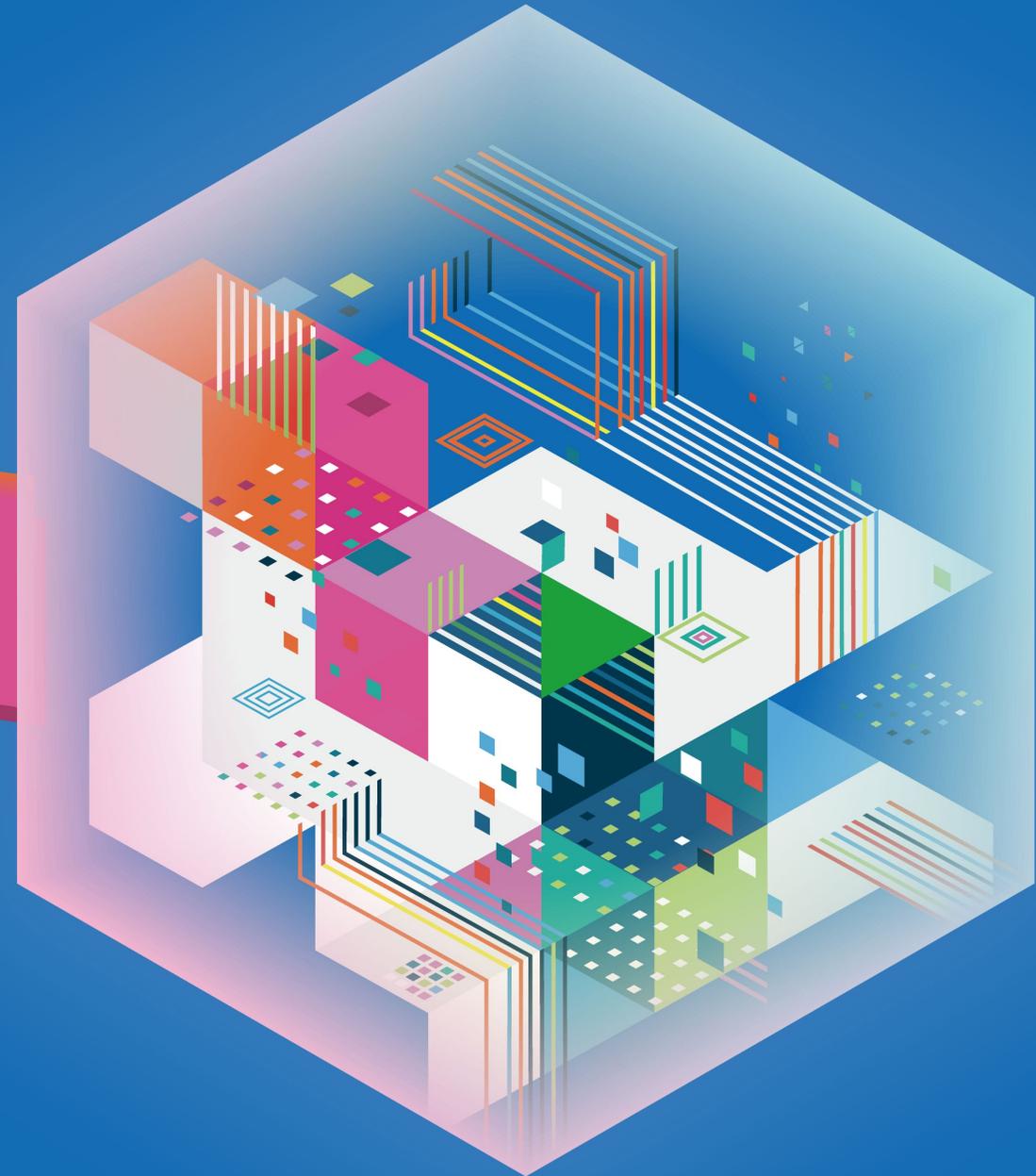


2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会

実証事業者ミニピッチ



実証事業者ミニピッチ

発表順

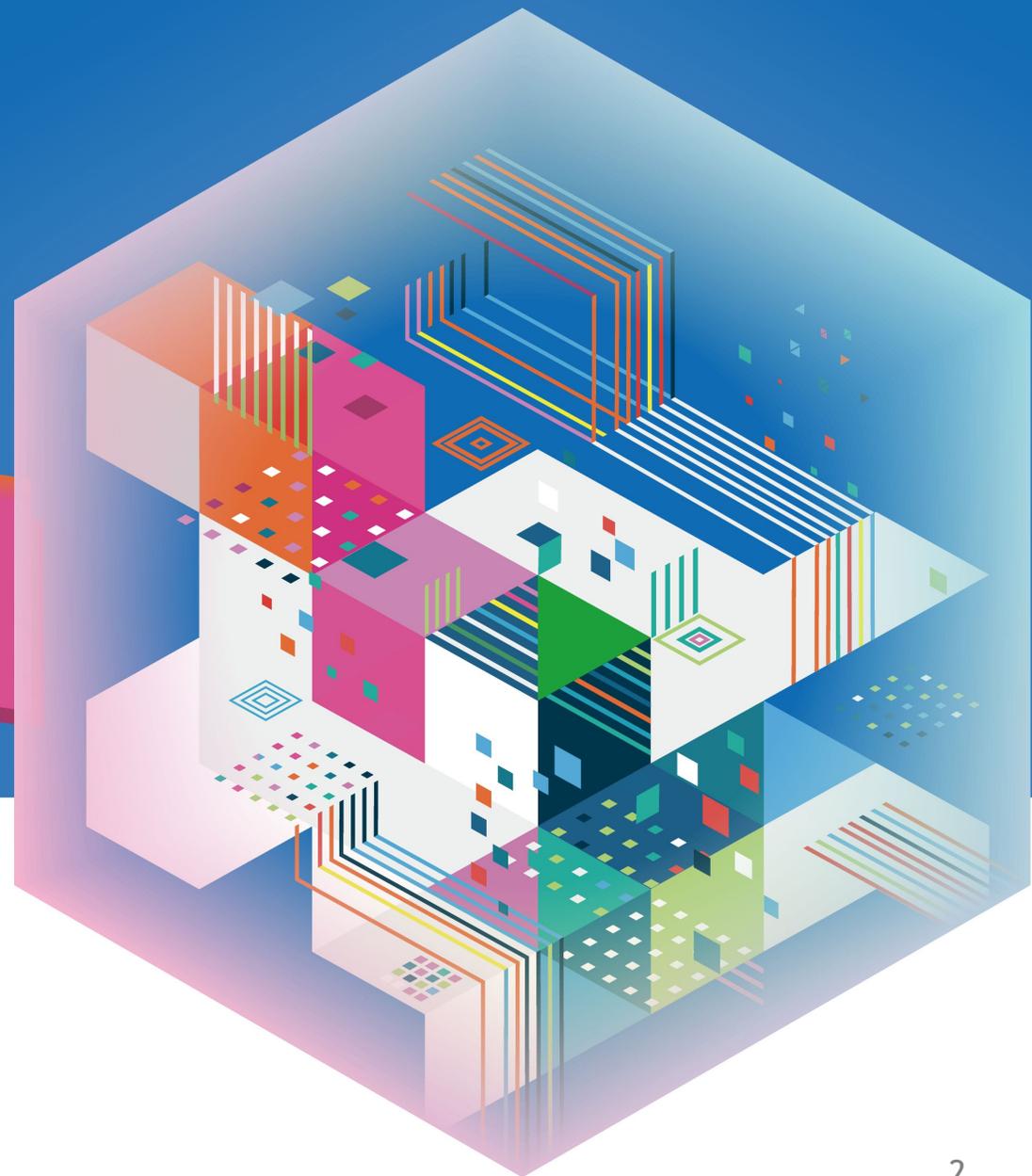
- 1 TOPPAN株式会社
- 2 高梁まなびとしごと
未来共創コンソーシアム
- 3 特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会
- 4 株式会社うむさんラボ
- 5 株式会社SALMON GARAGE
- 6 株式会社Gakken
- 7 株式会社教育と探求社
- 8 株式会社乃村工藝社
- 9 株式会社うちゅう



2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



TOPPAN株式会社

実証事業者ミニピッチ

HPはこちら



TOPPAN

- TOPPAN株式会社 / TOPPANデジタル株式会社

実証テーマ

学校と地域・企業のマッチングPFによる、ヒト・モノ・カネの循環と多様な学びの環境構築

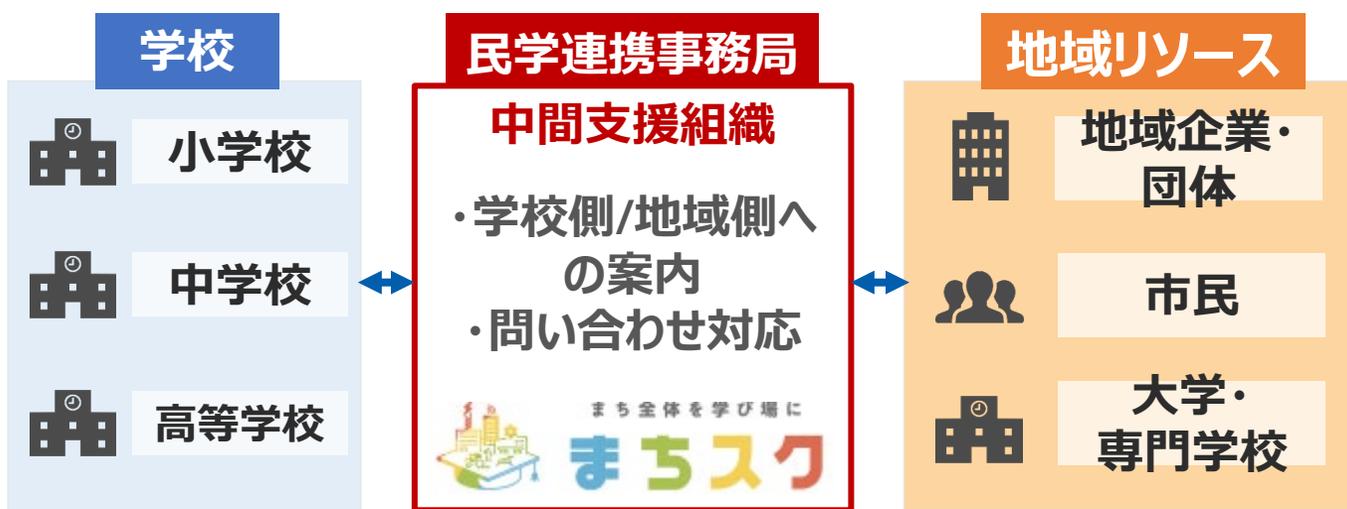
目指すべき姿

学校・自治体・企業が連携した「民学連携事務局」の設置により、ヒト・モノ・カネの資源が循環することで“多様な学び”の場を醸成する

実証場所

- 福島県 会津若松市
- 福島県 喜多方市
- 千葉県 柏市 柏の葉エリア

実証概要



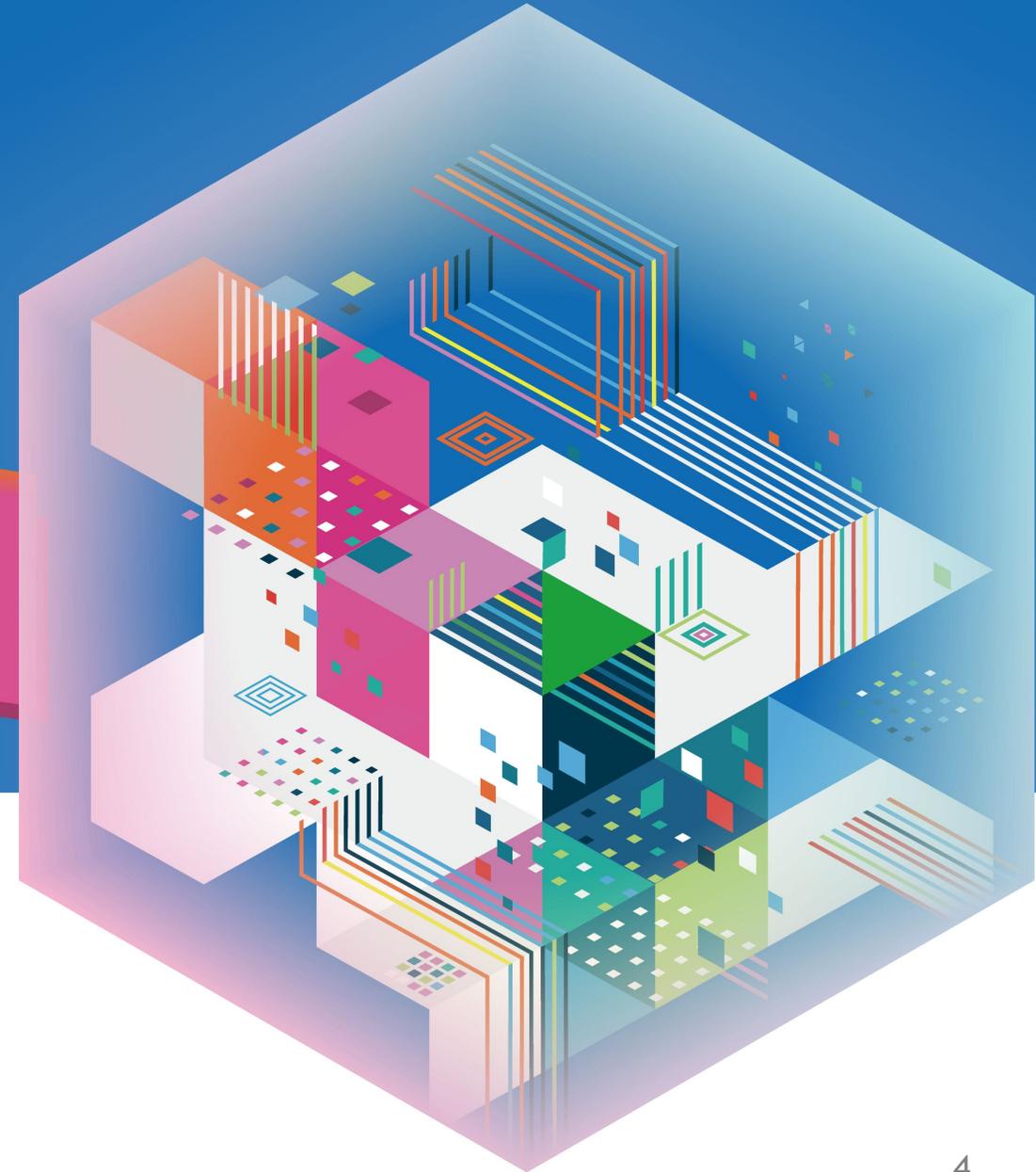
- 学校側と地域リソースを繋ぐ「民学連携事務局」を設置
- 民学連携事務局の基幹ツールとして「まちスク」を導入
- まちスクの機能を活用し、学校側、地域リソース側双方の“需要”と“提供できるもの”を一元的に管理・公開



2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



高梁まなびとしごと
未来共創コンソーシアム

実証事業者ミニピッチ



高梁まなひとしごと
未来共創コンソーシアム

公立高校(非商業系) × 株式会社 × 地域連携 アントレプレナー教育と資金循環の構築



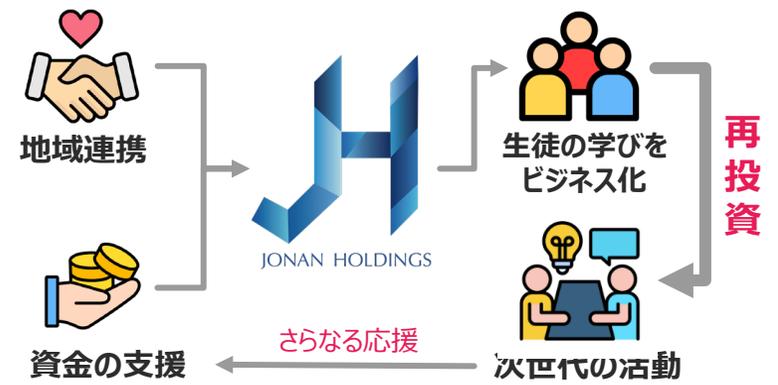
商業高校以外で日本初、岡山県立高梁城南高校で「JONANホールディングス株式会社」を設立

本実証は、公立高校が予算不足・リソース不足・会計上の制限を乗り越え、学びをビジネス化・収益化して次の活動へ投資する「自走の仕組み」の構築を目指しました

実証①

地域資金循環と自走の仕組み

商業ではない公立高校で最適な仕組み設計、資金獲得と収益を次の活動へ再投資できる循環構築



実証②

探究×ビジネス一体型プログラム

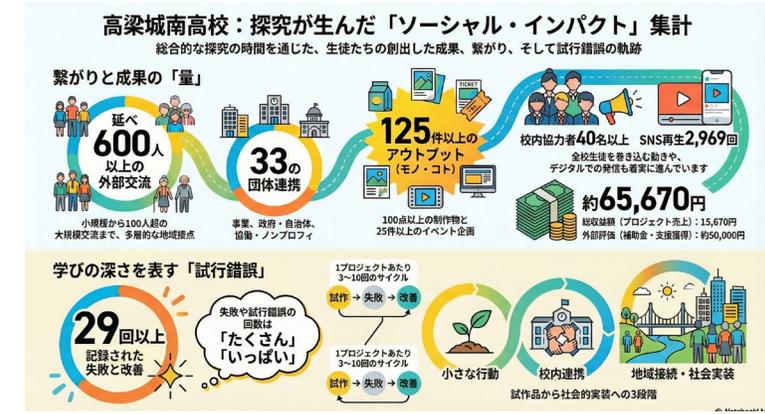
非商業高校でも可能な「ものづくり×ビジネス」教育を、地域の大学や起業家と連携して開発



実証③

学校版ソーシャルインパクト評価

利益以外に、生徒の活動が地域に与えた社会的インパクトを定量・定性で測定、可視化

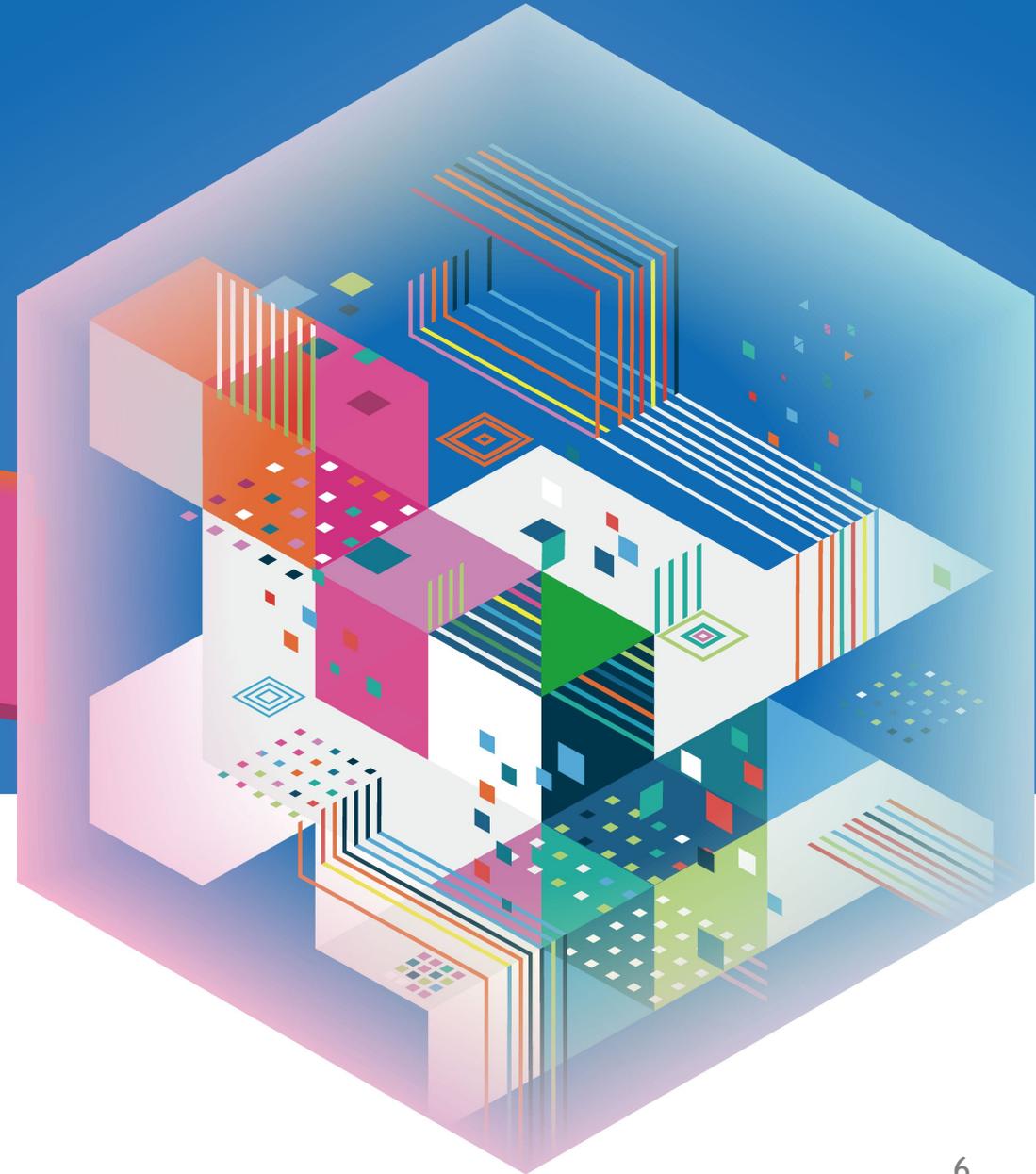




2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



特定非営利活動法人
日本ファンドレイジング協会

実証事業者ミニピッチ

HPはこちら



実証テーマ すべての自治体・教委がファンドレイズできる伴走支援体制の構築・検証と知見集約

実証フィールド 神奈川県鎌倉市、兵庫県芦屋市、京都府（可能性検証）

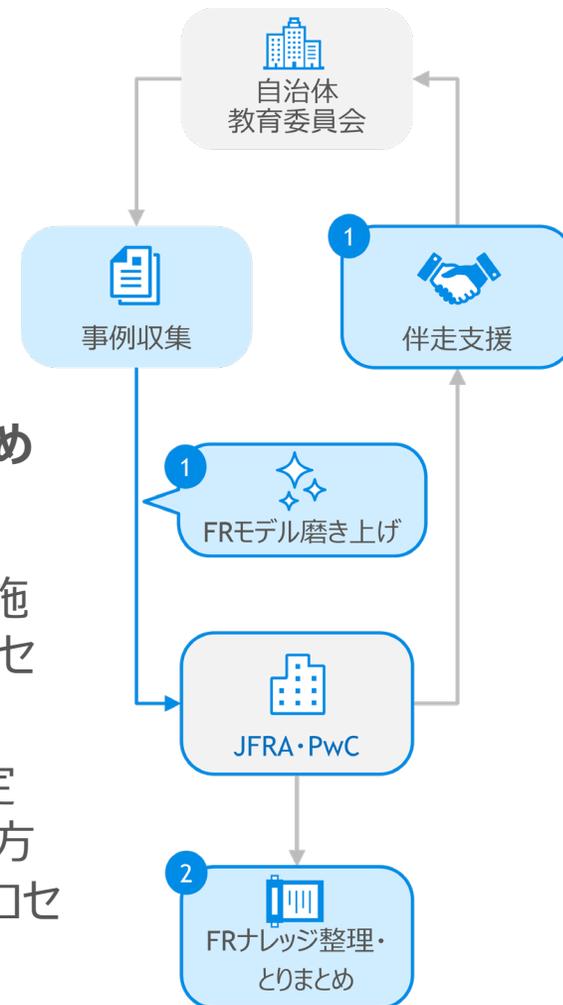
普及の仕掛け 公教育ファンドレイジングに関する知見を取りまとめた。「公教育ファンドレイジング虎の巻」を作成し、マニュアル化

1 伴走支援等を通じた自治体FRモデル磨き上げ

- ・「教育大綱」を軸に、FRアクションを連携させた結果支援者層拡大。 **鎌倉市**
- ・DAFの導入を通じて、自治体における利活用の条件などを整理。 **鎌倉市**
- ・遺贈寄付受け入れに向けた伴走をし、自治体における積極的受け入れ態勢(方針・フロー・候補物など)構築。 **芦屋市**
- ・広域自治体と基礎自治体が協働してFRを行うパターンと各役割を整理。 **京都府**

2 FRナレッジ整理・取りまとめ

- ・9自治体へのヒアリングを実施し、FR実施体制や取組プロセスなどを収集。
- ・マニュアルには、FR戦略策定手順、FR方策選択ガイドと方策詳細、方策ごとの取組プロセス等を整理して取りまとめ

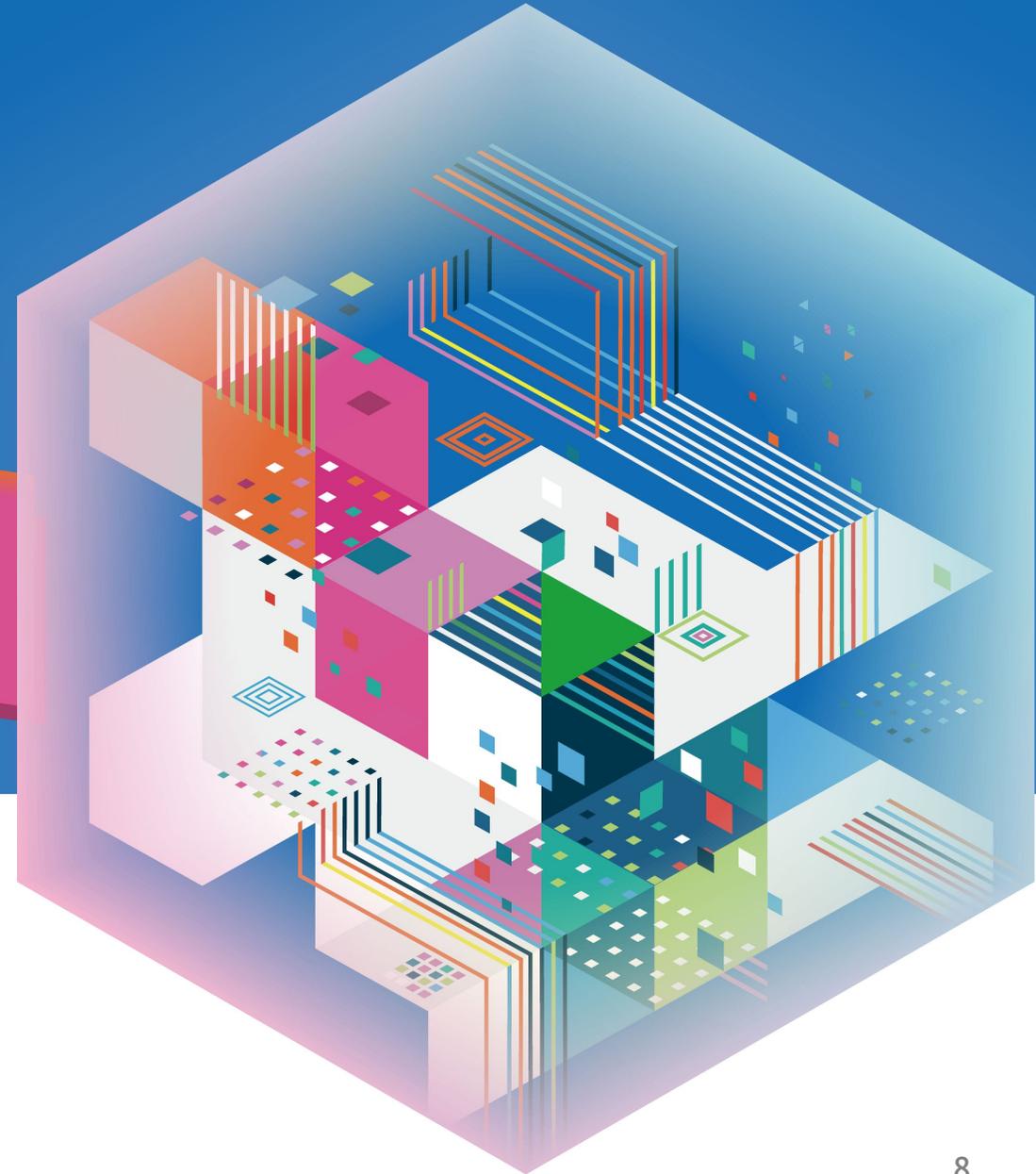




2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



株式会社うむさんラボ

実証事業者ミニピッチ

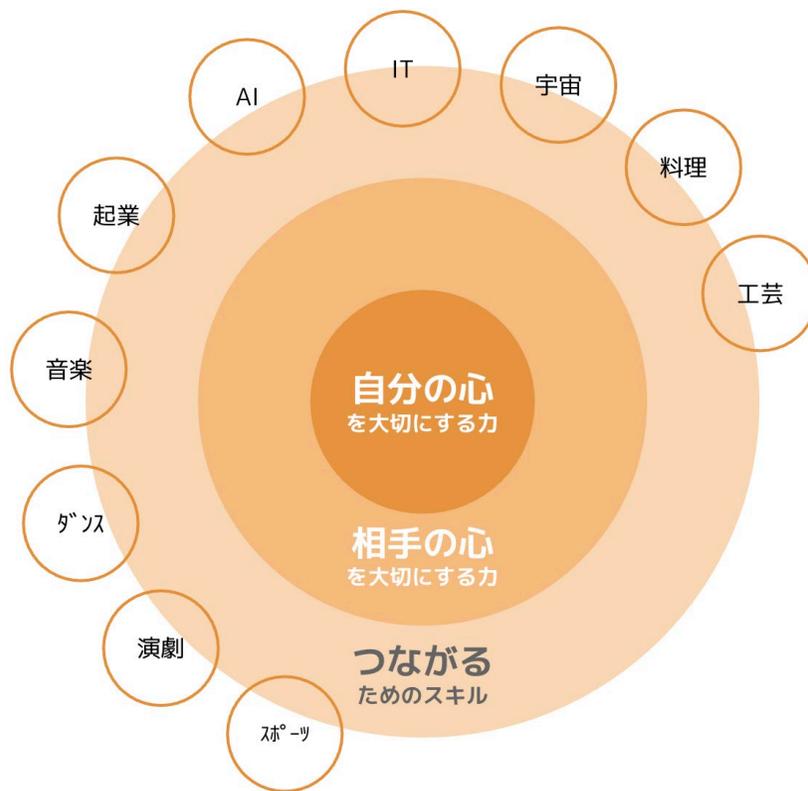
株式会社うむさんラボ
 ～沖縄発「ゆいという共育システム」の構築～



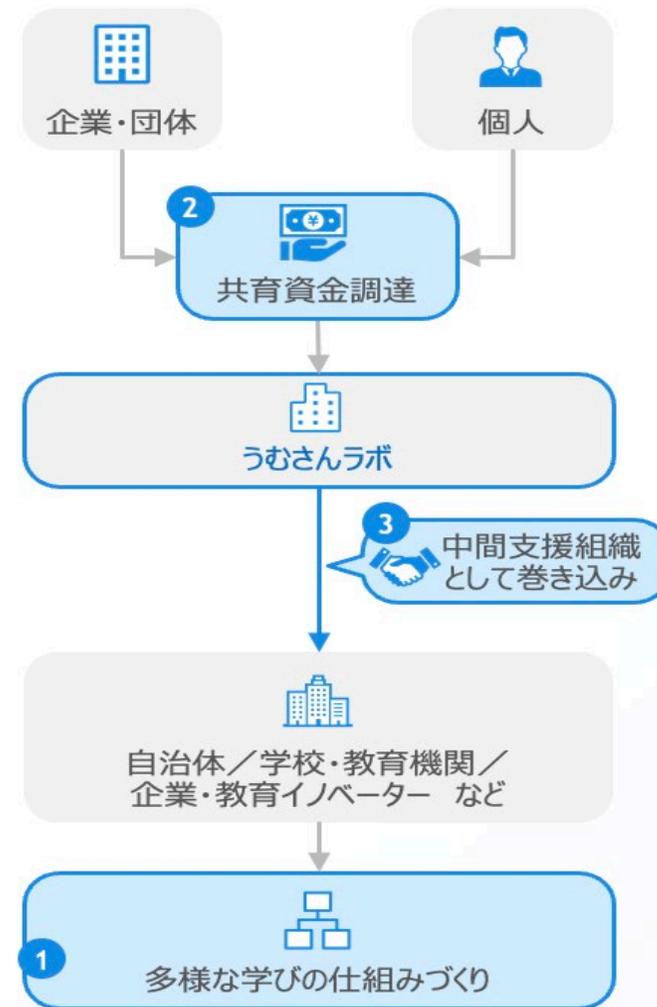
【実証内容】

- 1 「体験」を通じて「心」を育む多様な学びの仕組みづくり
- 2 多様な共育資金調達方法の創出
- 3 教育に特化した中間支援組織機能の創出

【ゆいという共育のイメージ】



【全体スキーム】

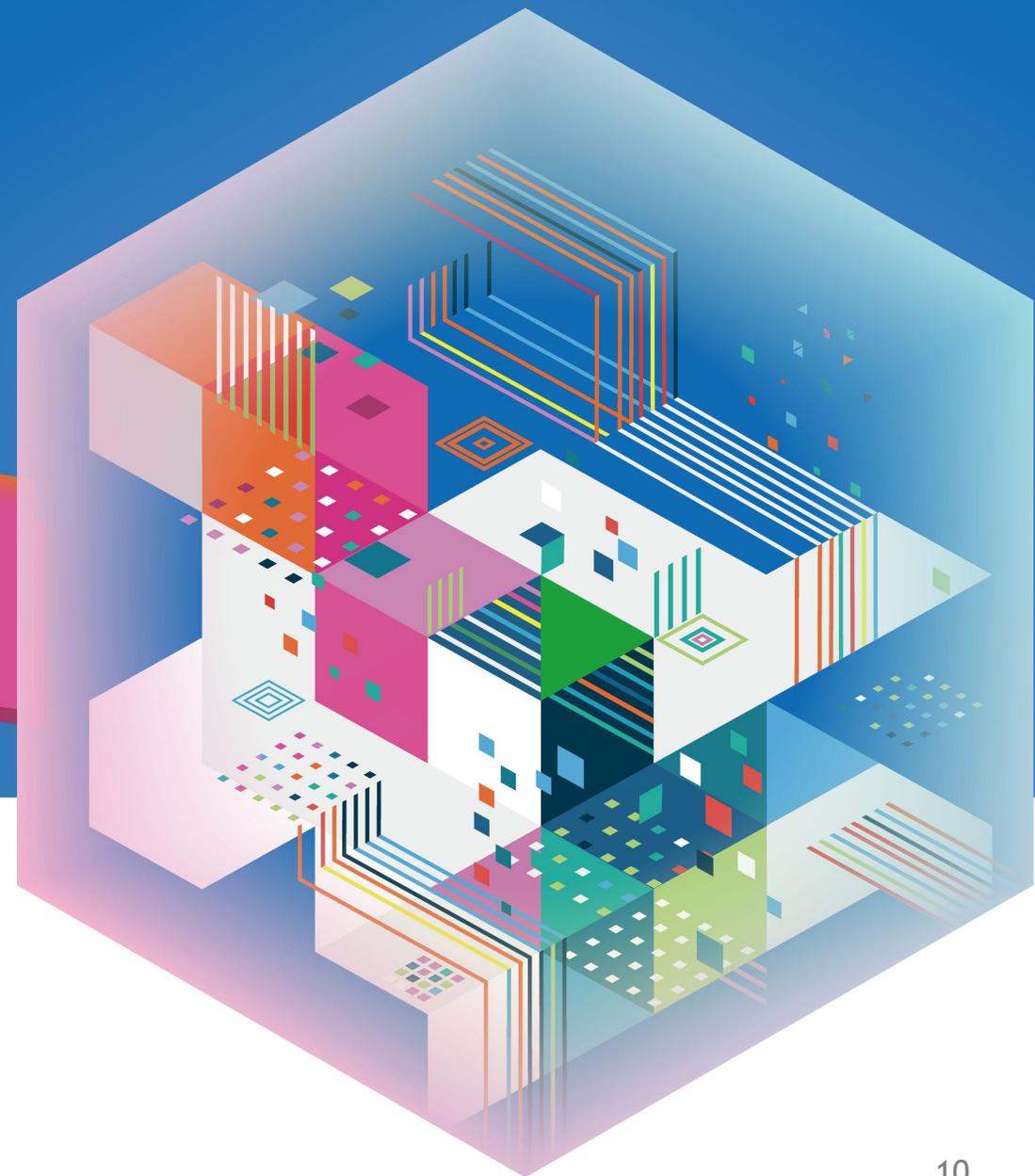




2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



株式会社

SALMON GARAGE

実証事業者ミニピッチ



HPはこちら

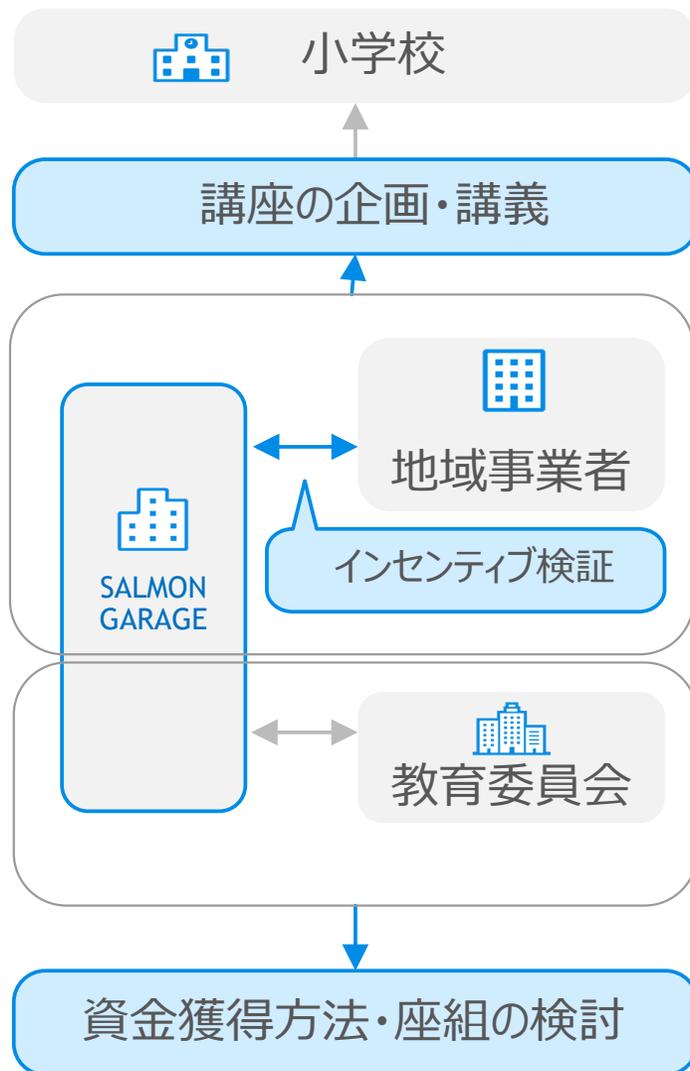


テーマ 地域の多様な事業者と協働による
探究・体験講座の開講と展開

エリア 滋賀県
愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町

背景 交通インフラも含めた様々なリソースが不足する地方部においては、探究心や研究心を育む機会・選択肢が不足している

目指す姿 地域の事業者が積極的に教育に関わり、協働により体験・探究講座を開講し、全国的に展開できる状態を目指す。



4町まるごと たいけん きょうしつ

体験教室

子どもたちの「やってみたい」を見つけよう
ご近所の4町を横断したワクワクする体験教室が、この秋・冬限定ではじまります。

地元や近くの町には、まだ知らない面白いことがいっぱい。
はじめてのことにも、ちょっと難しいことにも、
作って、学んで、チャレンジして、“オモシロイ”を体感しよう

初回は **10月10日** ととのうさウナ ネコ・ねこ・猫 **11月11日** ミックスオスパイス 未来のゲストハウス

参加対象：多賀町・甲良町・豊郷町・愛荘町に住んでいる小学生

申し込み **10/12** まで
専用QRコードから申込んでね！

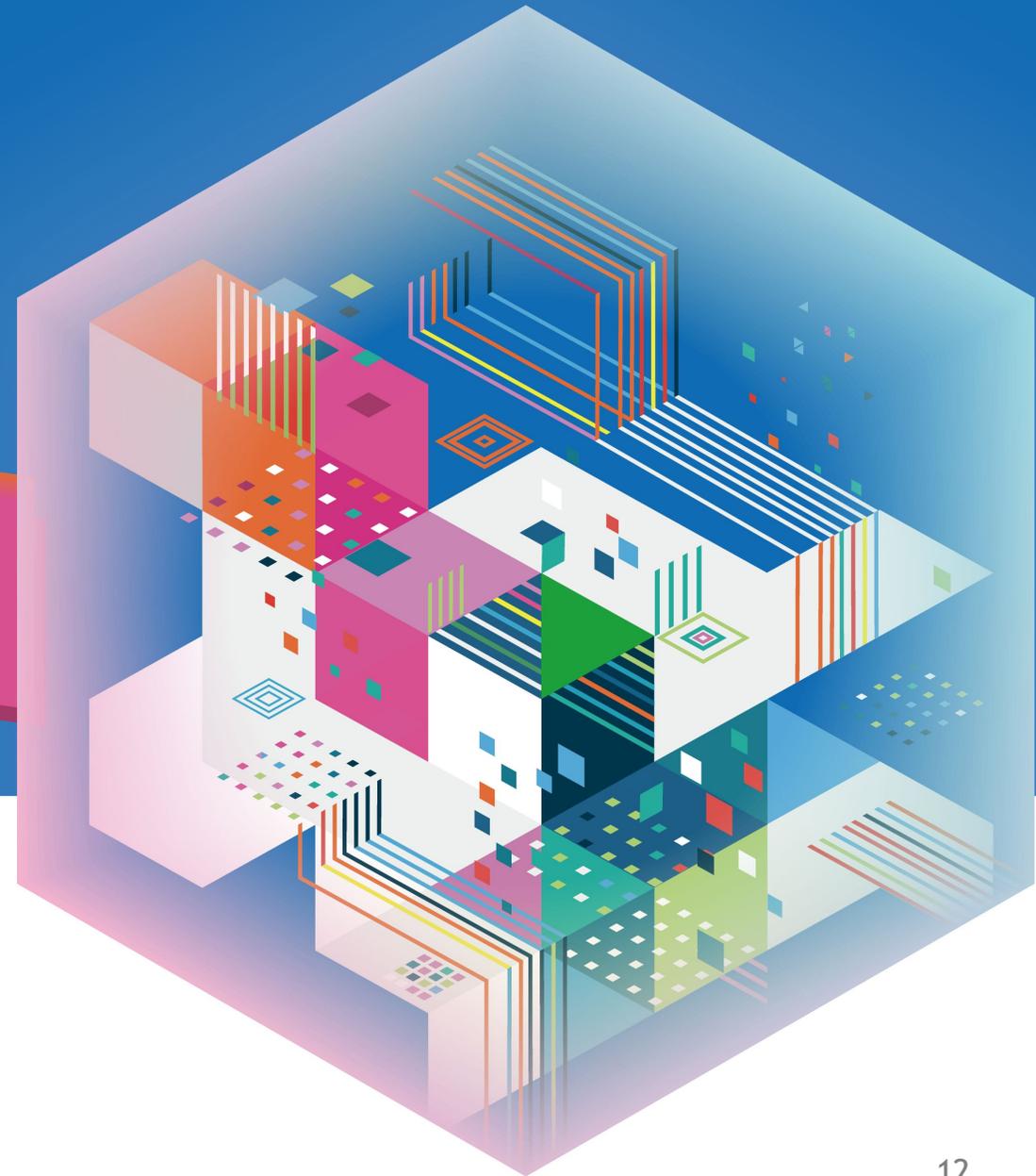
後援：多賀町教育委員会・甲良町教育委員会・豊郷町教育委員会・愛荘町教育委員会 / 運営事務局 株式会社SALMON GARAGE



2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



株式会社Gakken

実証事業者ミニピッチ

HPはこちら



Gakken

実証テーマ

価値創造型人材育成のための学校と企業をつなぐ教育プログラムの構築と検証

めざす姿

学校における価値創造型人材育成のために、企業等人材との連携への期待。

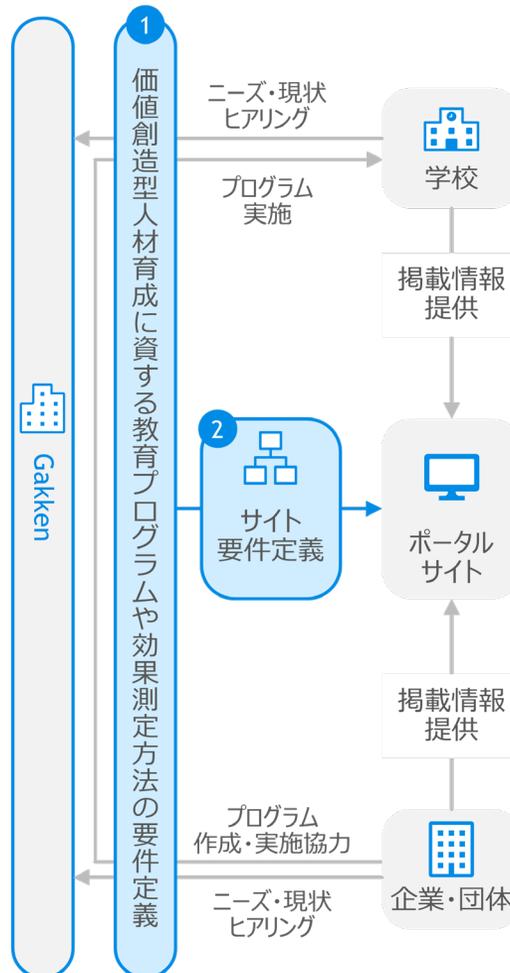
一方、効果的な教育プログラムの要件が明確化、連携のための環境整備に課題。

学校ニーズと企業知見のよりよいマッチングが生まれるための要件を明確にする。

監修：金子嘉宏 東京学芸大学 教育インキュベーションセンター長 教授

連携：株式会社ユーミックス

その他：実証フィールド、協力企業団体



実施内容

- ◎ 価値創造型人材の育成に資する教育プログラムの要諦作成と検証
「価値創造型人材」のスキル定義の設定→先行事例の検証→学校・企業等ヒアリング→教育プログラム案の策定→実証フィールドでの実証授業の実施
- ◎ 学校と企業をつなぐハブとなるポータルサイトの要件定義
先行類似サイトの検証→学校・企業等ヒアリングにより課題と有効な仕組みの抽出→サイト要件案作成・検証

実証成果

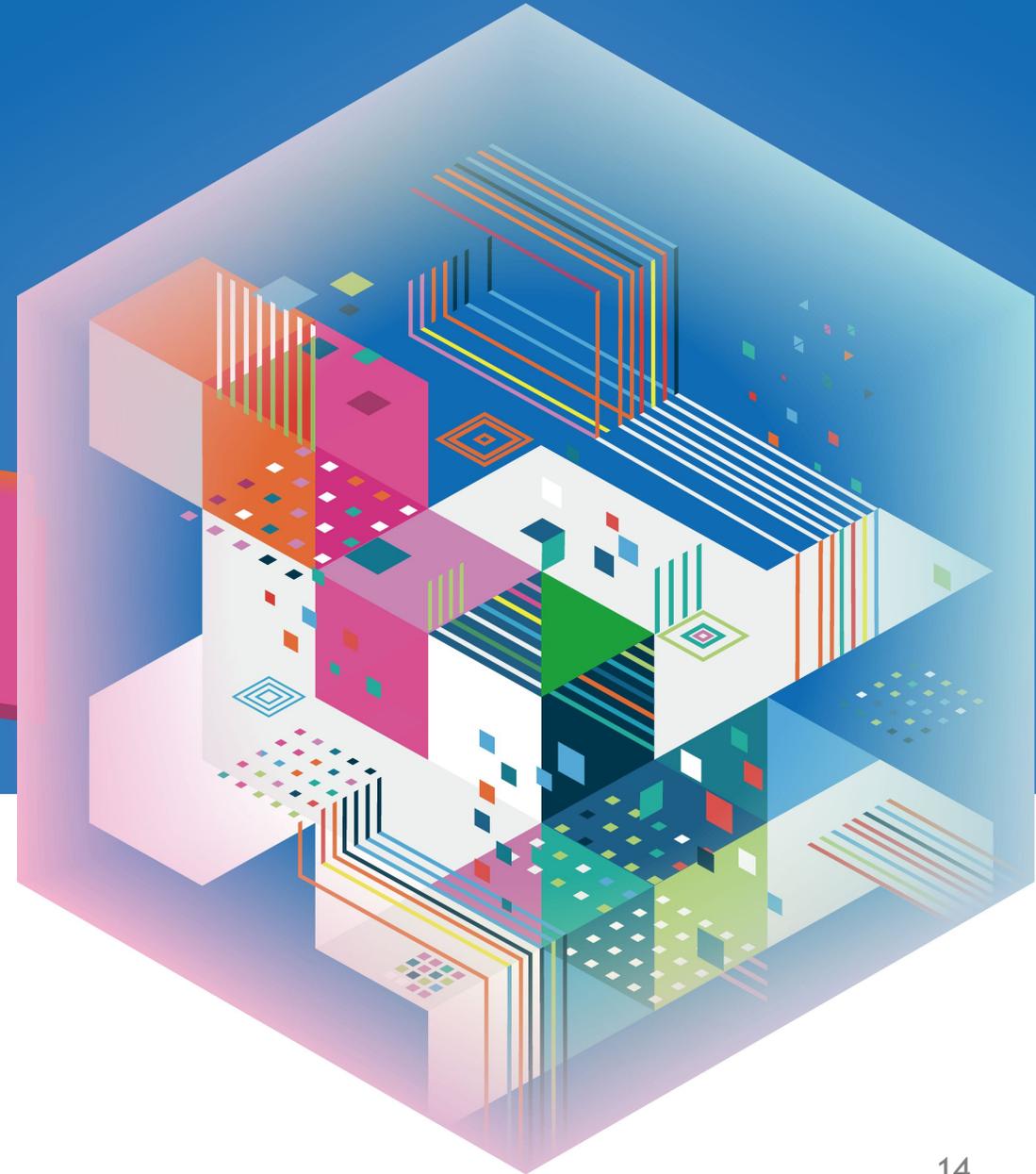
- ◎ 探究的な学び、ゲーミフィケーションなどの要素を含んだ教育プログラムが有効
- ◎ 価値創造型人材スキルと教科を接続するテーマ設定
- ◎ 企業と学校をつなぐ中間支援機能の存在が不可欠



2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



株式会社教育と探求社



生成AIを活用した先生と生徒のための探究学習支援に関する実証事業 ～学びのプロセスの可視化と関わり方支援に向けた検証～

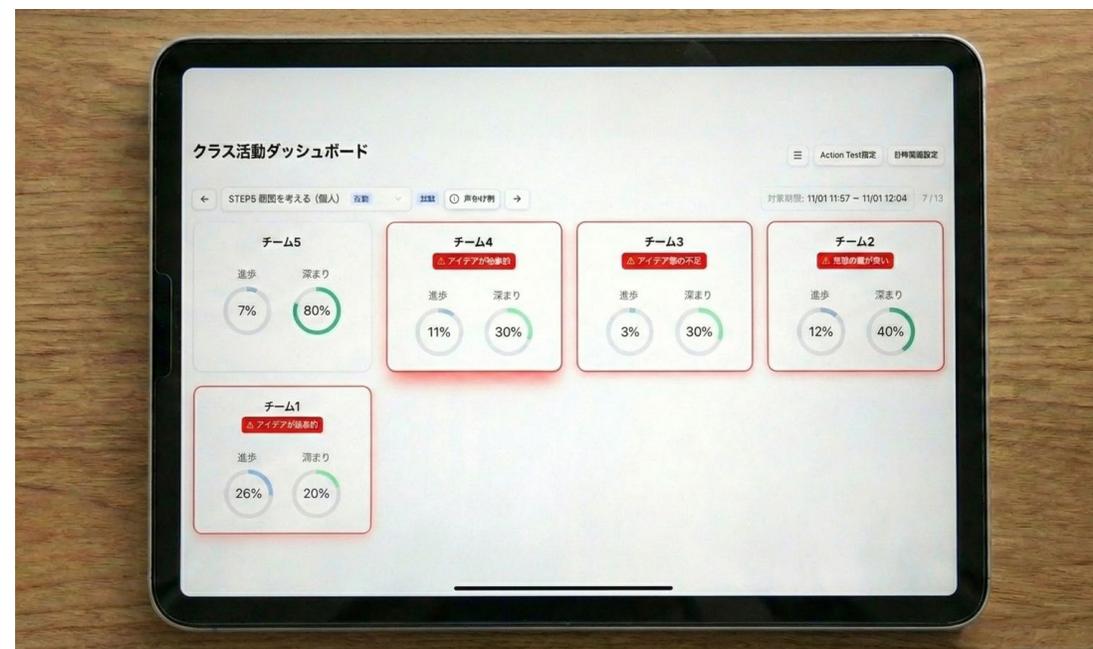
教育と探求社
EDUCA & QUEST

背景・課題

主観や感覚に頼らざるを得ない「見取り」の不安を、客観的なデータで支え、経験の浅い先生でも伴走できる環境へ

実証内容

- ・先生方の「実践知」をフレームワーク化
- ・グループワークをリアルタイムに分析・要約
- ・授業後の活動レポートの出力と振り返り実施



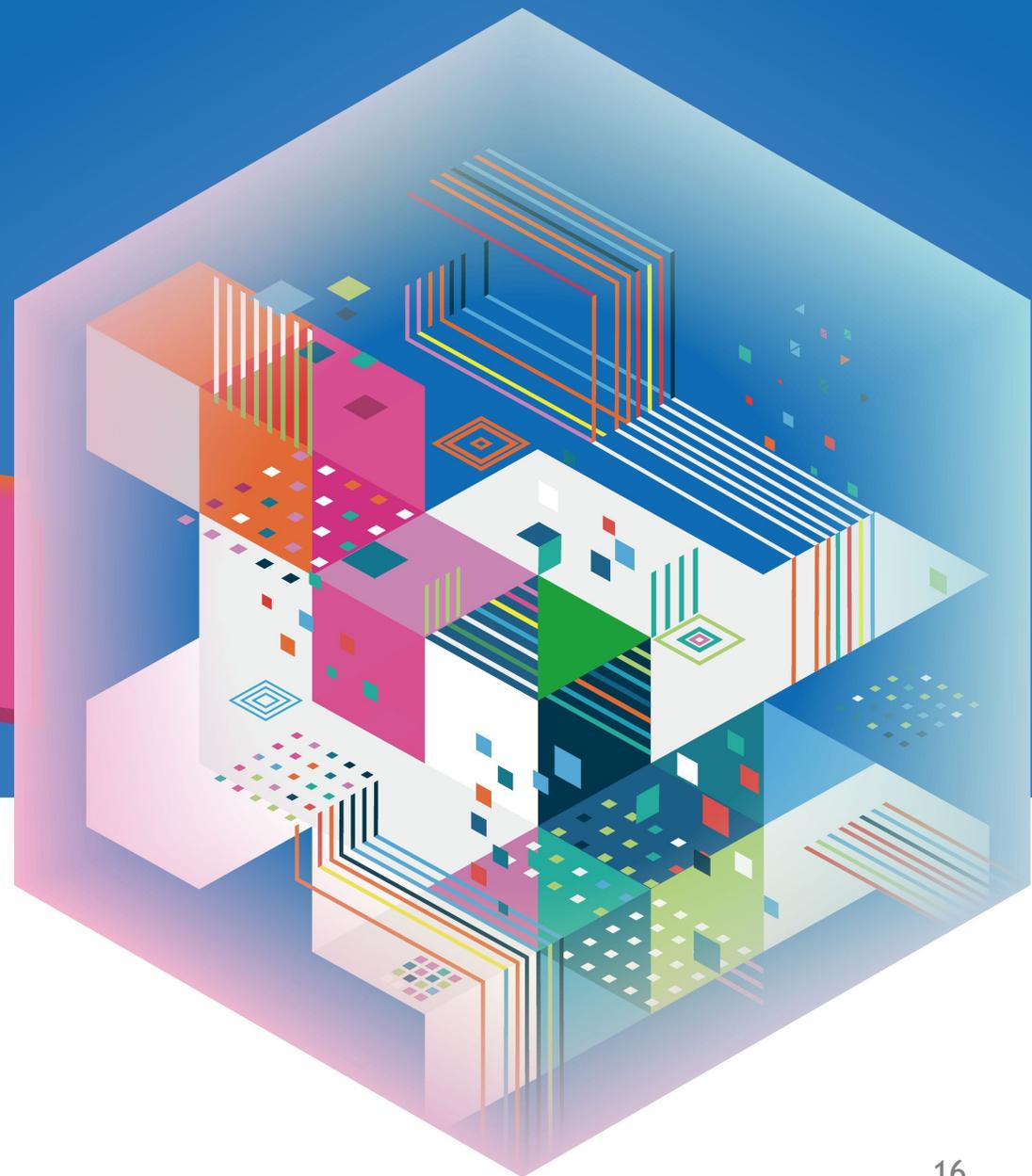
「見取り」を補完し、先生がより深く生徒に向き合える環境へ



2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



株式会社乃村工藝社

実証事業者ミニピッチ

HPはこちら



実証テーマ

学校施設を活用した**放課後体験プログラムの提供**にあたり、**自治体の負担を軽減**するための手段を検討

背景と目指す姿

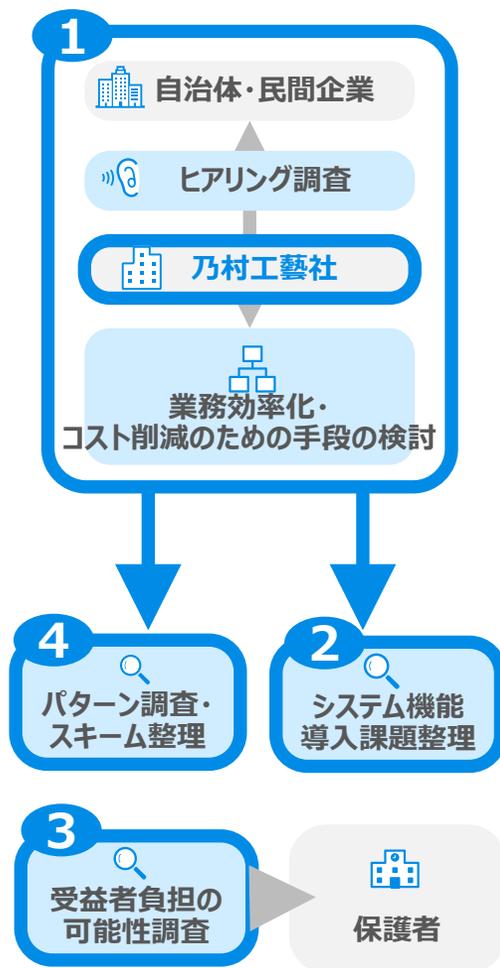
学校を活用した放課後事業の実施に際し、複数関係者との各種調整手段が依然としてアナログであることに加え、ヒト・カネの効率化も進んでいない状況。

よって、学校ステークホルダーの役割分担、調整労務のシステム化含む効率化の余地、ならびに受益者負担導入による自治体の財源負担軽減の可能性を検討

普及の仕掛け

放課後事業の効率的な運営に資する、**調整労務効率化システムの要件を定義**するとともに、当該システムを導入した際の**関係者の業務フロー**、自治体・事業者双方のハードルを整理

乃村工藝社



1 6自治体・3放課後事業者ヒアリング調査

2 調整労務効率化システム機能および導入課題の整理

3 受益者負担の可能性調査
1都4県の20~50代1,172人にWEBアンケート実施

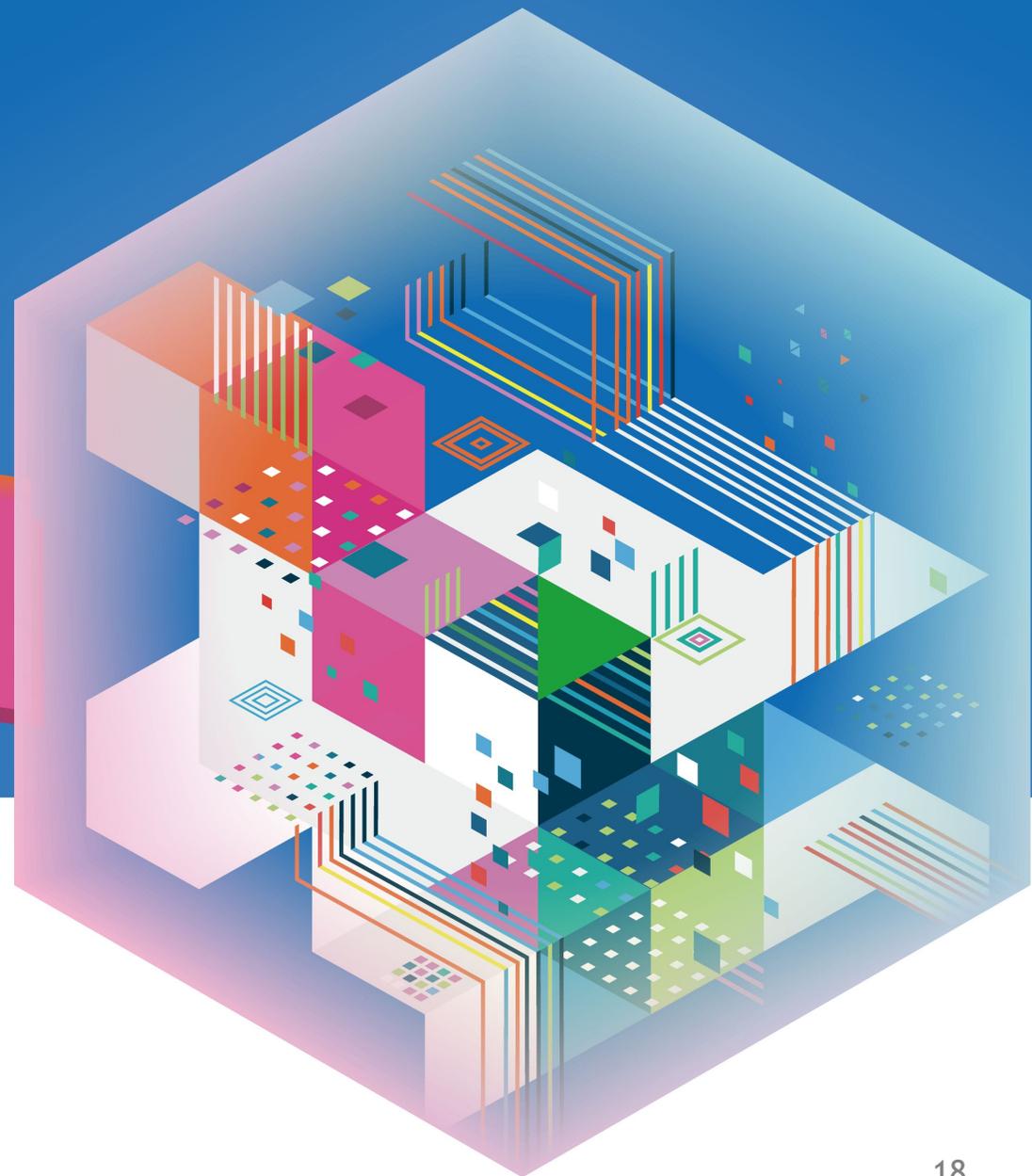
4 放課後事業者との民間事業者、自治体の連携パターン整理



2025 — 26

「未来の教室」

成果報告会



株式会社うちゅう

実証事業者ミニピッチ



うちゅう うちゅうにむちゅう

HPはこちら



探究 & 産業融合型コミュニティ “コウセン”とは

コウセンとは、高校生と企業が共同で先端領域での事業創出に挑戦するための拠点としてあらゆる支援や活性化を促す機能を持ったオンラインコミュニティ

提供機能

交流・発信

ミーティング
アップ

勉強会

成果発表会

ピッチイベント

プログラム



スタータープログラム



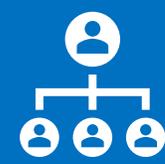
事業化プログラム

コウセンにおける今年度の取り組み

事業アイデアの
社会実装支援



持続可能な
運営体制の検討



効果的な
普及方法の検討



成長
支援

